

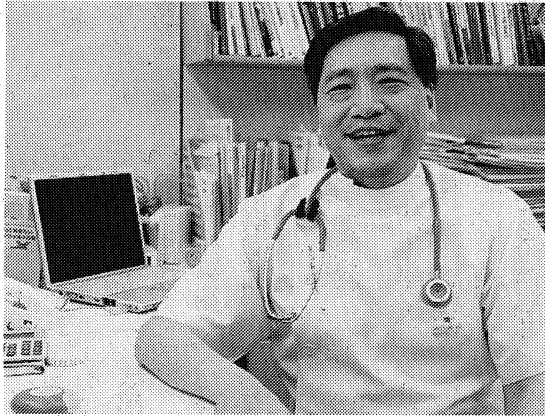
90年に開業しました。一般小児科ですが、専門は、低出生体重児や重症の新生児の治療です。淀川キリス卜教病院や府立母子センターの新生児集中治療室(NICU)での勤務経験があり、新生児に対して専門性を持って治療し、地域の支援組織と一緒に探して紹介するなど「赤ちゃんと一緒に育てる」ことを心がけています。

妊娠末期に自宅から遠く離れた実家に帰り、出産する妊婦が多くいます。出産時に危険な状況に陥った場合、赤ちゃんは実家近くの病院のNICUに入ることになります。重い障害や慢性的疾患を抱えたまま退院

ご近所のお医者さん

54

「一緒に子育てしていきたい」と話す江原さん



になります。赤ちゃんの病状を良く理解できる小児科

医はどこにいるのか、障害に対する訓練をどこで受け

いなど、考えるようになり

ました。02年には全国のNICU出身の小児科医に集

させた方がいいかなど、地域の情報を知らず、とまどうことも多いのが現状です。

そこで、NICUでの勤務経験を生かしながら、地域でこのような子どもを育てるサポートができたらい

低出生体重児などでNICUに入った乳児を抱える両親は「後遺症があるので」と心配したり、悲観して孤立してしまうことがあります。そういう時は、地域の育児事情をよく知る医

師に相談してください。私たち医師も、福祉や行政サービス

の知識を勉強しながら一緒に子どもの成長を見守りたいと思います。

【聞き手・幸長由子】エバラこどもクリニック(小児科・アレルギー科) 三田市弥生が丘1の11。診療時間は月～金曜の9時～12時半、15時半～19時、土曜日9～13時。☎0795・62・8580

地域で子育てをサポートを

江原柏陽さん(54)